

4月7日（月） 始業式と入学式

新年度の初日4月7日に、始業式を行いました。新型コロナウイルス感染防止策として、全校放送による始業式となりました。3月の終業式に引き続いてということで大きな混乱はなく、新しい学級に入った生徒たちは静かに放送に耳を傾け、真剣に取り組みました。

式の中で、安藤校長が新型コロナウイルス感染防止に向けて全校生徒に注意と意識の高揚を促した後、「現状維持は後退ということ意識して、主体性を大いに発揮すれば、「日本一の学校」に確実に近づけると生徒たちに話しました。

感染症を避けるための休校がスタートダッシュを阻むことになってしまいましたが、瑞浪北中学校の生徒たちの新年度にかける情熱は決して消えることがないでしょう。



始業式が終わり、2、3年生が学級びらきに取り組んでいるときに、新入生107名の入学式を行いました。

緊張感漂う中、新入生は真新しい制服に身を包み、胸を張って体育館に入場しました。座った時の姿勢や身のこなしからも、中学生としての自覚があふれていました。

式の中で、新入生を代表してI・D君がステージに上がり、堂堂と中学生になった

決意を語りました。2、3年生が不在の式でしたが、彼の語りは先輩にも負けない中学生としての貫禄がありました。

先輩との出会いは、後日の対面式となります。新入生107名、2年生104名、3年生127名の合計338名で、令和2年度の瑞浪北中学校がスタートしました。

